

「時の港」

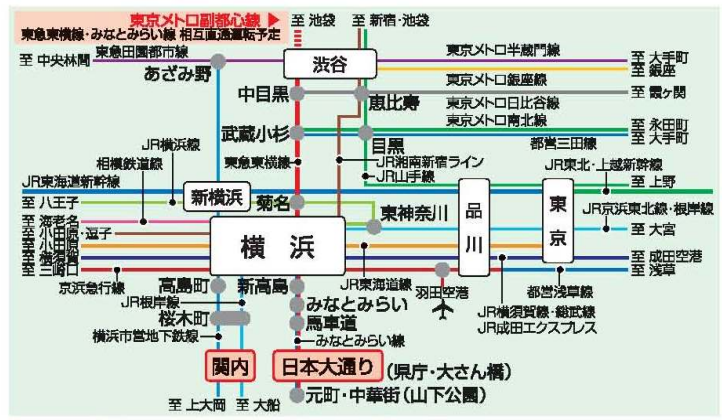
歴史と未来をつなぐ象徴的な空間



象の鼻パーク交通案内

専用駐車場はありません。
公共交通機関をご利用ください。

- 鉄道**
- ・みなとみらい線「日本大通り駅」 徒歩5分
 - ・JR、横浜市営地下鉄「関内駅」 徒歩15分
- 主要道路**
- ・羽田空港から高速横羽線経由 約22km
 - ・東名横浜・町田ICから高速狩場線経由 約25km
- バス(横浜市営バス)**
- ・8,58系統「日本大通り」下車 徒歩5分
 - ・26系統「税関前」下車 徒歩2分
 - ・あかいくつ「大榎橋入口」下車 徒歩2分
- 近隣駐車場**
- ・赤レンガパーク駐車場 約80台
 - ・大さん橋国際客船ターミナル駐車場 約400台
 - ・日本大通り地下駐車場 約200台



象の鼻とは

横浜港の開港にあたり2本の突堤が造られました。荷物を降ろす際に波の影響を避けるため、東側の突堤を弓なりに延長しました。この形から「象の鼻」と呼ばれるようになり、その防波堤で囲まれる水域に面した一帯を「象の鼻地区」と呼びます。



▲明治43年頃(1910)の象の鼻地区と周辺の風景

横浜港の歴史と象の鼻地区

江戸時代末期、鎖国していた日本に開国を求めて米国のペリー提督の一行が来航し、6年後の安政6年(1859)6月2日に横浜は開港しました。

開港場として発展した横浜の歴史は、日本の近代化の歴史の重要な一幕であり、西洋文化と文明の多くは横浜を窓口として日本に導入されました。

横浜港は関東大震災や戦災など幾多の困難もありましたが、取扱貨物の増大・船舶の大型化・コンテナ化に対応したふ頭の建設や効率的な港湾運営を実施し、我が国を代表する国際貿易港となりました。

その中であって、象の鼻地区は、今も往時の空気を伝える貴重な空間として、変わらない場所にその姿を残しています。



▲ペリー提督の横浜上陸

パーク利用上の注意

来園者の皆様が、きれいな環境のもとで安心して憩えるように、ゴミは持ち帰り、次のことを守って利用しましょう。

- ① 迷惑行為禁止：スケートボード、花火、ゴルフ等
- ② 二輪車進入禁止：オートバイ、自転車(押し歩きしてください)
- ③ 犬放し飼いや禁止：犬などペットの放し飼い禁止、鳩などの餌付け禁止
- ④ 営業行為の禁止：飲食物、物品販売行為の禁止

●パーク管理について
大さん橋ふ頭事務所
☎045-211-2301 FAX045-201-8983

●発行
港湾局企画調整課
☎045-671-2881 FAX045-671-7310

象の鼻
パーク

象の鼻パークにはこんな施設があります

横浜港発祥の地「象の鼻地区」が、開港150周年記念事業により「象の鼻パーク」に生まれ変わりました。

1 開港の丘

港や海を見渡せる緑の丘です。休憩所象の鼻テラスもあります。



2 開港波止場

日本大通りから港を感じる開放的な広場です。イベント等もできる広場になっています。



3 象の鼻防波堤

横浜港を見渡すことができる、新たなビューポイントです。



4 スクリーンパネル

昼はモニュメント、夜は夜景を演出する照明施設となっています。



象の鼻パーク見取り図

凡例 トイレ 休憩所 ピア象の鼻 身障者用設備 水飲み場 解説板 遺構 出入口



歴史的港の遺構を活用しています

明治中期の姿に復元しました
象の鼻防波堤

パーク内には、工事中発見された遺構や歴史を紹介する解説板がありますのでご覧ください。

遺構の保存活用

- ・ 転車台
- ・ 石積の防波堤
- ・ 旧横浜税関倉庫の基礎

解説板(10ヶ所)

- ・ 象の鼻地区の変遷
- ・ 遺構 など



▲工事中の転車台

象の鼻テラス

カフェを併設した憩いのスペースであると同時に文化観光交流の拠点として、展示やパフォーミングアートなどを開催し、情報発信していきます。どなたでも利用できます。

🕒 営業時間 9:00～17:00 *閉館時間はイベントなどの開催状況による。

詳しくは ☎ 045-661-0602



水上交通

ピア象の鼻より定期航路船や観光船が発着します。

京浜フェリーボート(株) ☎ 045-201-0821

<http://www.keihin ferry.co.jp/waterbus-zou>

(株)ケーエムシーコーポレーション ☎ 045-290-8377

<http://www.tokyo-cruise.com/combases/cafeship.html>

